

令和6年度企業版ふるさと納税の効果検証について

【はじめに】

本市は地方創生の取組の一つとして、「四街道市まち・ひと・しごと創生推進計画」を策定し、令和3年度から地方応援税制（企業版ふるさと納税）の認定を受け、企業の皆様から御支援をいただきながら、地方創生の取組を推進してきました。この度、令和6年度の寄附受入結果について、以下のとおり効果検証を行います。

【寄附受入実績】

1 “選ばれる”まちづくり～四街道市への人の流れを創る～						
担当部署	事業名称	事業内容	決算額 (円)	寄附受入額 (円)	寄附企業	事業効果
政策推進課	“選ばれる”まちづくりをめざしたシティプロモーション推進事業	本市が持つさまざまな魅力を積極的に市内外に発信することにより、本市の認知度を向上させるとともに、イメージをアップさせます。	971,123	900,000	阪神金属興業(株) ほか非公表1社	子育て世代の方が多く利用する、市外の商業施設や宿泊施設、京葉道路の幕張パーキングエリア等にPRバンフレットを配架するとともに、東関東自動車道にかかる陸橋に市のPR横断幕を掲出することで効果的に市の魅力を発信することができました。 また、各分野で活躍されている四街道市PR大使2名の等身大パネルの作成や、新しいシティセールスロゴマークを活用したグッズの制作・配布を行うことで、市の認知度向上を図りました。 その他、地方創生に資する各種施策を総合的な観点から推進することで、令和6年度中も、子育て世代を中心に転入超過（458人）を維持することができ、「四街道市への人の流れを創る事業」として効果がありました。
みんなで課	“選ばれる”まちづくりをめざした多文化共生推進事業	地域の現状や課題を踏まえた多文化共生に関する市の方向性を示す「(仮称)多文化共生社会推進プラン」を策定します。	2,323,620	600,000	シンユービジネス(株) ほか非公表1社	「(仮称)多文化共生社会推進プラン」の策定に向けた基礎資料とするため、日本人市民の意識・共生に係る課題や外国人市民の生活・意識、生活支援ニーズなどを明らかにすることを目的として、多文化共生市民意識調査を実施しました。 誰にとっても住みやすく、みんなが快適に過ごせるまちづくりを推進することができ、「四街道市への人の流れを創る事業」として効果がありました。
2 “未来につなぐ”まちづくり～結婚・出産・子育ての希望をかなえる～						
担当部署	事業名称	事業内容	決算額 (円)	寄附受入額 (円)	寄附企業	事業効果
政策推進課	“未来につなぐ”まちづくりをめざしたメモリアルフォトブース事業	メモリアルフォトブースを市役所庁舎に設置し、結婚の機運を高めるとともに、若い世代の転入や定住促進を図ります。	383,759	300,000	阪神金属興業(株)	市役所本館1号棟1階に、四街道市PR大使の世古乙羽さん監修のメモリアルフォトブースを設置し、結婚した方やお子さんが生まれた方等の思い出の瞬間をかたちに残すことができる場を設けることができました。 あわせて、結婚記念グッズとして、四街道市で婚姻届を提出されたご夫婦にスティックバルーンをプレゼントしました。 地域で結婚や出産を祝福し、市への愛着や結婚・出産に対する機運の醸成を図ることができ、「結婚・出産・子育ての希望をかなえる事業」として効果がありました。

※寄附企業名について、企業が公表を希望されない場合、非公表と記載しています。

【効果検証結果】

令和6年度における寄附受入実績は、3事業に4社から計1,800,000円の寄附を受入れました。
令和5年度における寄附受入実績は、1事業に2社から計450,000円の寄附を受入れてあったことを踏まえると、令和6年度は寄附受入事業、寄附社数、寄附受入額のいずれにおいても増加となり、民間の資本を活用しながら、効果的に地方創生の取組を推進することができました。
令和7年度についても、総合計画第1期基本計画HAPPY SMILE PLANにおける4つのまちづくりの推進力（エンジン）の一つとして設定している公民連携の観点も踏まえ、成果報酬型の企業版ふるさと納税支援サービスも活用しながら、寄附検討企業への効果的なアプローチを図ること、引き続き、民間事業者と連携した地方創生の取組の推進を図ります。

